

信州大学医学部附属病院 精神科に入院中または過去に入院され、入院中に精神科作業療法を受けた患者様またはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年6月11日

**「気分障害患者に対する服薬量と作業療法の関係」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4042
研究課題名	気分障害患者に対する服薬量と作業療法の関係
所属(診療科等)	精神科, リハビリテーション部
研究責任者(職名)	杉山暢宏(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年6月4日
研究の意義、目的	気分障害患者さんに対する入院中の作業療法プログラムと薬物療法の服薬量との関連性を明らかにすることを目的とした研究で、効果的な早期作業療法プログラムの開発に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2013年4月1日から2018年6月5日の期間に当院で気分障害について入院医療を受けられ、精神科作業療法が処方された方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、検査結果、薬物療法、電気けいれん療法、作業療法プログラムなど
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、作業療法プログラムと薬物療法の服薬量との関係性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 中野未来(リハビリテーション部・作業療法士) 電話: 0263-37-3399

**既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。